



# 国連生物多様性の10年日本委員会 Japan Committee for UNDB

2010年10月、愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されました。その主な成果として、生物多様性に関する新たな世界目標である「愛知目標」の決定や、2011-2020年を「国連生物多様性の10年(UNDB)」とし、愛知目標の達成に貢献するため、国際社会が協力して生物多様性の保全に取り組むことが国連で採択されました。この決定を受けて、2011年9月に「国連生物多様性の10年日本委員会」を設立しました。生物多様性の主流化を目指し、国内外の社会を構成するあらゆる主体が連携して、様々な取組を進めています。

<b>委員長</b> 中西宏明（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）	<b>学識経験者・有識者・文化人</b> 岩槻邦男（東京大学 名誉教授）	<b>関係団体</b> 一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 経済同友会、日本商工会議所、公益社団法人 日本青年会議所、一般社団法人 大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、一般社団法人 日本林業協会、全国森林組合連合会、全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、一般社団法人 日本旅行業協会、国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)、公益社団法人 日本植物園協会、公益社団法人 日本動物園水族館協会、公益財団法人 日本博物館協会、国連生物多様性の10年市民ネットワーク、一般社団法人 CEPAジャパン、生物多様性わかものネットワーク、一般財団法人 自然公園財団、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク、公益財団法人日本自然保護協議会(NACS-J)、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、公益社団法人 国土緑化推進機構、公益財団法人 山階鳥類研究所、生物多様性自治体ネットワーク
<b>委員長代理</b> 涌井史郎（東京都市大学 特別教授）	イルカ（国際自然保護連合 (IUCN) 親善大使） 小菅正夫（北海道大学 客員教授） 堂本暁子（前千葉県知事、元 IUCN 副会長）	
<b>関係省庁</b> 外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省		<b>後援団体</b> 一般社団法人 日本新聞協会、一般社団法人 日本民間放送連盟